

「減価償却応援」機能アップ対応版 (Ver.12.0) のご案内

拝啓 貴所ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り心から御礼申し上げます。早速ですが、標記の件につきまして「減価償却応援 機能アップ対応版(Ver.12.0)」を下記の通りご案内致します。

なお商品リリースの際、機能が若干変更される可能性がありますので、あらかじめご了承下さい。

敬具

1. プログラムについて

データ移行対象バージョン・・・Ver.10.0以降

上記のバージョンからデータ移行が可能です。

連動可能な法人税システム : 平成 20 年度版以降

連動可能な所得税システム : 平成 20 年以降

バージョンの表記について

「Ver.12.0」のように小数点以下 2 桁目は省略して記載しています。正確なバージョンはシステム起動後の[ヘルプ]-[バージョン情報]で確認できます。

2. システムの対応内容

Ver.12.0 で対応する内容は、次のとおりです。

1. 資産除去債務の主な対応内容

①資産除去債務対象会社の設定

会社基本情報の<運用方法>に「資産除去債務の計上(する/しない)」の設定を追加します。

②資産除去債務情報の登録

資産登録画面に<資産除去債務>を追加し、資産除去債務に関する情報を登録できるよう対応します。

③月次償却設定画面の対応

資産除去債務の対象資産の場合、月次償却設定画面で「当期償却額 除去費用分」の項目を表示するよう対応します。資産除去債務設定画面で登録した(除去費用分の)当期償却額の月次償却額が確認できます。

④資産除去債務明細書の新規追加

資産除去債務設定画面の設定内容を確認できる「資産除去債務明細書」を新規追加します。

⑤固定資産台帳、償却予定額一覧表、仕訳資料の出力対応

出力条件設定画面に「資産除去債務分(含める/含めない)」などの設定を追加します。

2. 資産ラベルシールのテプラ印刷対応 (※「テプラ」は株式会社キングジムの登録商標です。)

資産一覧画面、およびリース物件一覧画面に<テプラ印刷>を追加し、指定した資産およびリース物件のラベルを、コンピューター接続したテプラ本体より印刷できるように対応します。

テプラは、コンピューターに接続できる、SPC9(テプラ PRO 専用の PC ラベルソフト)の Ver.3.6 以上で使用可能機種が対象となります。

・使用可能なテプラ本体機種(2010 年 12 月現在)

PRO SR950/SR930/SR920/SR720/SR750/SR550/SR530/SR520/SR520X/SR3900P/SR3700P/
SR3500P

・使用可能なテープの種類(テープ幅)は、12mm/18mm/24mm の 3 種類になります。

・使用可能なOSは減価償却システムの動作対象かつ SPC9 の動作対象のOSになります。

WindowsXP/Vista/Windows 7(64ビット版も可)

3. 5 年均等償却資産の最終年の端数処理に対応

会社基本情報の<運用方法>に「5 年均等償却最終年の端数」の設定を追加し、旧定額法や旧定率法の 5 年均等償却中の資産で償却最終年度に端数が発生した場合、その端数を当期に計上するよう対応します。

4. 個人の場合、平成 19 年 3 月 31 日取得以前でも新償却方法を選択できるよう対応

個人の場合、取得年月日が平成 19 年 3 月 31 日以前であっても、事業供用年月日が平成 19 年 4 月 1 日以降であれば、新償却方法が選択できるよう対応します。

対応背景

単純承認により相続した資産は被相続人取得価額(未償却残高)及び取得時期(取得日)を引継ぎます。

1 / 2

この「取得日を引き継ぐ」という規定は、ただ単に「取得日」を引き継ぐだけであって、償却方法は引き継ぎません。

5. バックアップ・リストア機能の改善

会社バックアップ・リストア実行中に処理実行件数を表示するようにします。また<前回の結果>で表示される一括バックアップ処理の結果画面を<印刷>できるようにします。

3. 平成23年度の税制改正について

平成 22 年 12 月 16 日に閣議決定されました「平成 23 年度税制改正大綱」において、改正内容として定率法の償却率の見直しが含まれています。

Ver.12.0 は、法案が成立(通常3月末)した場合の平成 23 年度税制改正による計算には対応していません。平成 23 年度税制改正の対応につきましては、改めてご案内いたします。

4. プロダクトIDについて(スタンドアロン版)

プログラムのセットアップ(インストール)時にプロダクトIDを入力していただきます。プロダクトIDは製品固有の 24 桁の数字で、同一のプロダクトIDは存在しません。1 つの製品を複数のコンピュータにセットアップされた場合、2 台目以降では、別のプロダクトIDを入力されるまでプログラムの起動ができなくなります。プロダクトID が記載されたラベルは、CD-ROM のケース(ライセンス商品の場合はライセンス使用許諾証)に貼られます。詳細は改版商品に同梱のご案内(手順書)をご参照ください。

ライセンス商品のご案内

「応援シリーズ」で、同一プログラム(スタンドアロン版)を複数本使用される場合、2 本目以降のライセンス商品(及び年間プログラム保守契約)を割安価格でご用意しています。

5. ライセンスキーについて(ネットワーク版)

プログラムのセットアップ後、ネットワーク基本パックからライセンスキーを入力していただきます。ライセンスキーは製品固有の 32 桁の英数字で、CD ケースに貼付のラベルに記載されます。詳細は改版商品に同梱のご案内(手順書)をご参照ください。

以上、宜しくお願い致します。